

特別展「東寺」アンケート集計結果

本展のアンケート集計につきまして、機材トラブルにより、タッチパネルによるデータを集計することが出来ませんでした。そのため、自由記載によるご意見を基に集計したものを公表いたします。ご協力をいただきました皆様には大変申し訳ございませんでした。

開催期間 平成31年3月26日（火）～令和元年6月2日（日）62日間

回答者数 505人（総入館者数463,991人、回収率0.1%）

1. アンケート結果分類

① 好評とされた意見（計410人）	② 不評・要望とされた意見（計95人）
展示・作品 386人	説明文・キャプション 27人
音声ガイド 14人	展示・作品 23人
説明文・キャプション 7人	観覧者のマナー 15人
照明 1人	照明 6人
接遇 1人	観覧料 5人
その他 1人	接遇 5人
	グッズ販売 2人
	その他 12人

2. 主な意見・感想

- ・立体曼荼羅を中心に貴重な文化財を一堂に見ることが出来た。
- ・仏像の背後まで見ることが出来て感激した。
- ・解説文がわかりやすかった。
- ・写真撮影の音が煩くて集中出来なかった。
- ・混雑していて、ゆっくり鑑賞することが出来なかった。
- ・展示室が暗くキャプションが見え難かった。

3. 総括

本展は、空海にまつわる数々の名宝をはじめ、東寺に伝わる文化財の全貌を紹介したものです。空海が作り上げた曼荼羅の世界を体感できる講堂安置の21体の仏像からなる立体曼荼羅のうち、史上最多となる国宝11体、重文4体、合計15体が出品し、ほか彫刻、絵画、書跡、工芸など密教美術の最高峰が一堂に会しました。東寺が1200年にわたり、空海の教えとともに守り伝えてきた至宝をご堪能いただいた当展覧会は、46万人を超える方に御覧いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して81%の方から好意的な意見をいただくことができました。その一方で、撮影に対する運営方法や来館者のマナーに対するご意見もいただきました。

今回は、アンケートの集計にあたり機材トラブルが発生したことで、ご協力を頂きました皆様には大変申し訳ございませんでした。今後は、同様のトラブルへの対策を講じると共に、来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。